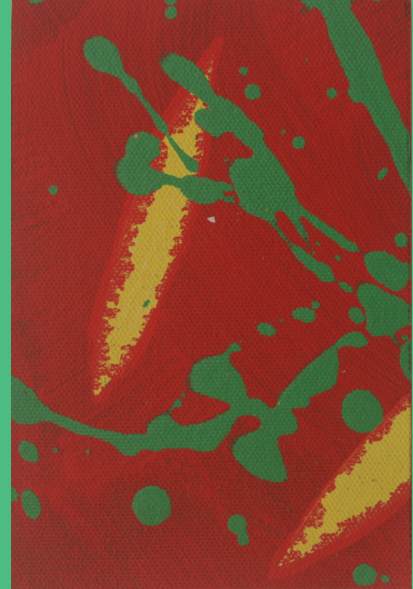




④ 伊藤 洋子・宮本 和雄 展



伊藤 洋子 〈 朝焼け 〉



宮本 和雄 〈 2022 土澤の風 冬から春へ 〉

「まちてくギャラリー」の40回目は伊藤洋子さんと宮本和雄さんの二人をお願いをして、展示をしています。

「原色を基調とした色彩、絡みつく渦巻きによって、物事と物事の間、更にその向こうにある物を表現していきたいと思っています」と語る伊藤さんの絵は、情念がもつれるように入り混ざって溢れているように思います。

情念というのは、論理的な思考や行動の原理になって働く、非常に強い感情だと想います。その感覚に突き動かされているのだろう、伊藤さんの絵は、考えながら、よく見たいと思います。



2014年 まちかど美術館 宮本 和雄 〈 浮遊する記憶 〉

宮本さんは2014年の街かど美術館で鑄八幡神社の土俵の屋根の妻部分に展示をしました。その時のイメージを思い出すように細長い葉っぱのような形をちりばめた作品を送ってきてくれました。

さらにそれを10センチと15センチの大きさに切り離して、写真ではなく実際の作品を3ヶ月間展示するように配慮してくれたのです。

しかもその題名が〈2022 土澤の風 冬から春へ〉としてあり、土澤への想いが溢れているように感じました。感謝です。

実際の展示をみただけでは、そこまでの流れが見えにくいかと思いましたが、あえて蛇足のような説明をつけさせてもらいました。